

# 日本タイヤリサイクル協会 25期迎え充実度増す

## 会員さらに増え31社に

協同組 会長は、「記念すべき第  
合日本タ 25回通常総会が先ほど無  
イヤリサ 事終了した。JSRAは  
イクル協 適正処理、タイヤ業界と  
会(JSR の協調を基本理念に今後  
RA)は も進んでいく。会員数も  
19日、東 増加して31社になった。  
京・日比 業界の地位向上をめざ  
谷公園の し、組織の力をますます  
松本楼で 強くしていきたい。本日  
第25回通 は時間の



伊藤理事長

許す限り  
ご歓談い  
ただきた

いと思う。」と挨拶した。  
また、来賓を代表して  
JATMAの倉田専務理  
事が、「タイヤリサイク  
ルは商業ベースで非常  
うまく回っており、稀  
な事例だと思う。これ  
いかに守り育ててい  
か、業界全体で考える  
とが必要だ」と祝辞を  
述べた。  
また、JATMA環境  
部の赤松部長から、今  
年からタイヤ適正処理の啓  
発をさらに進めるため、  
リサイクル研修会の受講  
対象をこれまでの販売会  
社から、販売会社が招集  
した販売店にも広げたこ  
とが報告された。  
同協会では今年も例年  
通りタイヤチップの共同  
納入、車両燃料の共同購  
入などの活動を行うこと  
にも、利用先企業とJA  
TMA、行政との連携を  
強め、更に会員企業増加  
を目指す方針。

常総会を開催した。

総会終了後の昼食懇親  
会で挨拶にたった伊藤理

# 節目の第25期迎える

## 日本タイヤリサイクル協会



5月19日、協同組合日  
本タイヤリサイクル協会  
(JSRA)は東京・日  
比谷の松本楼で「第25回  
通常総会」を開催した。

などについて審議し、い  
ずれの議案についても可  
決し承認した。

総会後の昼食懇談会の  
席で、伊藤嘉靖理事長(写

総会には、会員企  
業と事務局から32名  
が出席。平成28年度  
の事業報告と決算報  
告、平成29年度の事  
業計画と収支予算案

真)は次のように挨拶し  
ている。

「JSRAは適正処理  
タイヤ業界との協調を基  
本理念に、今後も進んで  
参る所存だ。会員数も現  
在、31社になった。業界  
の地位向上を目指して、  
組織の力をますます強く  
していきたい」

JSRAでは第25回通  
常総会を迎えるにあた  
り、記念品としてJSR  
Aのロゴを配した特製モ  
バイルバッテリーを制作

し、出席者に配布した。  
「第20回通常総会」のとき  
は、ペーパーウェイトを制  
作したが、記念すべき第  
25回ということで、今回  
はより実用的な記念品を  
選んだ(伊藤理事長)と  
紹介している。

なお、来賓として日本  
自動車タイヤ協会(JA  
TMA)の倉田健児専務  
理事や環境部の赤松大寿  
部長が出席し、JATM  
Aのリサイクルの取り組  
み状況を報告した。